

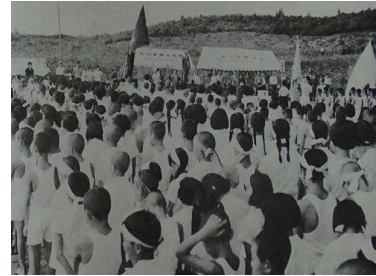
北校舎
(旧西根中)



7月1日は開校記念日



昭和34年西中祭



昭和37年 運動会

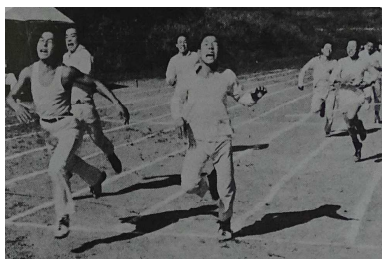
南校舎
(旧内小友中)



明日は本校の開校記念日です。本校の創立は、昭和33年7月1日ですので、今年で65年目となります。創立当時の生徒は、旧内小友中学校の南校舎と旧西根中学校の北校舎で、別々に学校生活を送っていました。その後、現在の場所に校舎（旧校舎）が新築されて、本格的な統合となりました。ここで問題です。皆さんと一緒に本校の歴史を振り返ってみたいと思います。

- ① 創立当時の本校の名称は？（「大曲西中学校」の名称になったのは昭和34年になってからです。）
- ② 本校が開校した年の12月に東京のシンボルとなる建物が完成しましたが、それは何？
- ③ 創立当時の生徒数は？（現在の生徒数は75名ですが…。当時は1クラスの数人が50人近くいました。1965年は538人でした。）

昭和41年
校内マラソン



昭和45年
修学旅行



昭和59年
全県初出場



西中五心

西中五つの心

- 1「はい」という素直な心
- 2「ありがとう」という感謝の心
- 3「私がやります」という奉仕の心
- 4「すみません」という反省の心
- 5「ごころさま」という思遣の心

本校が大切にしていることの一つに「西中五つの心」があり、各教室にも掲示しています。過去の記録を調べたところ、生徒指導で大切にすることとして「西中五心」と記され、昭和63年から取り組んできたことが分かりました。30年以上にわたって受け継がれてきていることとなります。この心は、日常生活でも随所で見受けられます。先日、

私は、部活を終えて家路につこうとしていた□□□□□さんが、玄関前のゴミを拾い上げて校内に捨てるに戻ろうとしている姿を見かけました。まさに「奉仕の心」です。さりげなく、「五つの心」を実践する本校の生徒たちの姿には心が打たれます。清掃時間も時間いっぱい黙々と取り組むなど、よき伝統の継承がなされています。ちなみに昭和63年以前は、今よりも多い「西中十心」の励行が長きにわたって呼びかけられていました。（「こんどこそ」という忍耐の心。「うそをつくな」という正直な心。などが加わっていました。）

☆生徒の活躍☆ 【馬術】 秋田若すぎ国体記念大会2022 小障害飛越競技 3位 □□ □

☆7月5日（火）は、PTA参観日です。ご来校をお待ちしております。

○13:30～親子講演会 ○14:30～郡市総体報告会・全県総体参加者紹介・県南吹奏楽コンクール壮行演奏会 ○15:10学年懇談

【問題の答え】 ①大曲第二中学校 ②東京タワー ③生徒数は437名